

～東京湾アクアラインを走る高速バスの仲間たちと共に～
**東京湾アクアライン避難経路踏査活動
・国交省道路局との意見交換会を実施**



JRバス館山分会は6月11日(水)、東京湾アクアラインを走る高速バスの仲間たち(京成バス労組、小湊鉄道労組、鴨川日東交通労組)と共にアクアラインの避難経路踏査活動と国交省道路局との意見交換会を開催しました。田城参議院議員、中央本部吉川委員長をはじめ千葉地本、JRバス関東本部他、総勢40名が参加しました。

【見えてきた課題】

川崎から木更津を結ぶ15.1kmの東京湾アクアラインは1日900便の高速バスが通行しています。しかし、バスの乗務員は海底トンネルと海上橋から成るアクアラインにて、事故や災害が発生した場合の教育、訓練を受けていません。今後の課題は高速道路での異常時対応をバス会社と道路会社が連携して訓練の実施や議論を重ねていくことです。



【災害が発生した場合の高速道路の防災を考える】

講師としてお招きした国交省道路局の宮西課長補佐から「高速道路の防災等の取り組み」について講演して頂きました。その後の意見交換では「沿岸部道路の避難場所の確保」や「高速道路サービスエリアを防災の拠点として考える」こと、「高速道路の雪害時の対応」「高速道路上のガードレールの整備」等の議論がされました。

JRバス館山分会では今回の取り組みを通じて、バス労働者の連帯を更に強め、田城参議院議員と共にバス業界の安全と利便性向上に向けて奮闘していきます！

全ての安全議論をたしる政策につなげよう！！